

概　況

公益財団法人に移行してから 7 年目の今年度は下記のとおりの事業を実施した。

公益目的事業 1 の重点事業(1)の重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業（国・山形県・鶴岡市補助金で実施）では、第 4 期工事（左官工事・塗装工事等）の進捗状況が順調なため、平成 30 年度予定の建物外周等の整備を前倒しで行うこととし、工期を昨年 12 月末、事業期間を同 29 年度末に変更した。7 月には文化庁調査官が来館し、現場の指導を行うとともに、継続する防災施設事業の検討も図った。今年 3 月末には平成 25 年 9 月より行われていた同事業が無事終了した。

重点事業(2)の重文旧鶴岡警察署庁舎ほか 2 棟の防災施設等整備事業（国・山形県・鶴岡市補助金で実施）は昨年 11 月より事業着手した。本事業は同 31 年 3 月末まで 2 ヶ年度にわたり、今年度は従来設置された自動火災報知設備や避雷針設備の器具交換や改修を行った。

重点事業(3)の長年懸案であった重文色々威胴丸修理事業も 9 月に着手した。修理は以前県文朱塗黒糸威二枚胴具足の修理を担当した小澤正実氏（文化財修復師・東京国立博物館内）に依頼し、今年 3 月に修理が完成し、今秋に公開予定である。また、重点事業(4)の鶴岡市文化資源調査では、「大泉叢誌」の付録である「同絵図」の図版解説・解説を含んだ翻刻本を刊行した。

保存管理事業では例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じた適正な保存管理に努めた。教育普及事業では、講演会や講座、教室などに延べ 342 名が参加受講した。

公益目的事業 2 の展示事業では、特別企画展（山形県・（公財）山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催）11 件、グループ展・個展 2 件、ロビー展 4 件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連して列品解説、アーティスト・トーク、実演などを実施し、好評を博した。特に 4 月開催の特別展「見どころ学べる！目で観る刀の教科書」では、大阪の日本刀剣博物技術研究財団保管の刀剣約 40 振を出品、「刀剣乱舞-ONLINE-」のキャラクターにもなっている短刀銘吉光（重文/名物・信濃藤四郎、号・五虎退、名物・乱藤四郎）を出品、また 5 月大型連休中には開館時間延長や刀剣乱舞のキャラクターによるイベントの開催、刀剣所蔵者による特別講演会の実施などで計 13,300 名余の入館者（一日：326 名）があり大いに賑わった。また、9 月の「遊びのこころ 磯貝吉紀 ドールハウスの世界」では、日本の第一人者の故磯貝氏の作品 30 点余を会場一面に展示し、愛好家などが多く来館、計 7,920 名（294 人/日）であった。他の展覧会では 10 月の「魅惑の江戸絵画」展（185 名/日）や 8 月の「陶芸家クリスチャンヌ・ペロション&写真家 山本豊」展（136 名/日）など好評で、入館者数が平成 23 年以来の 5 万人台に達し 50,590 名となった。また 9 月 15 日には昭和 25 年開館以来の総入館者数が 600 万人を超えた。

公益目的事業 3 は平成 25 年度からの国指定史跡旧致道館（旧庄内藩校）、並びに昨年 4 月から新たに大宝館が鶴岡市より指定管理者の指定を受けての保存活用事業である。旧致道館では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題して教育体験講座に多くの団体や学校の利用があった。特に学校の課外授業としての活動に協力し、文化の継承を担う施設として運営した。また、大宝館は地域の功績ある人物紹介の展示事業に力をいれ、好評を博した。

最後に平成 25 年から多くの法人や個人の方々から旧鶴岡警察署庁舎他周辺整備事業に対し多額のご寄付をいただいた。

1. 公益目的事業 1 （事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業）

1-1 重点事業

(1) 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業

本事業の 5 年目に当たり、昨年度に引き続き公益財団法人文化財建造物保存技術協会（東京）と設計監理の委託契約を締結し、第 1 期及び第 4 期工事の請負業者として懇山口工務店（鶴岡市）が行った。特に第 4 期工事の組立て工事として建物外部及び内部の左官工事（漆喰補修）、塗装工事（ペンキ塗り）等、併せて第 1 期工事の内、上屋の解体などを実施した。従来の事業計画より進捗状況が進んでいるため、平成 30 年度事業分を前倒し、第 4 期工事の外周工事、第 1 期工事の作業整理用プレハブ小屋の解体撤去などを実施し、12 月末で保存修理工事を、今年度 3 月末で本事

業を終了した。なお、7月24日には文化庁建造物課金井健調査官の現場状況確認等を行うとともに、その後防災計画等の指導がなされた。また昨年度に引き続き当事業に伴う寄付募集を行い、法人各社や個人の方々からご寄附をいただいた。

(2) 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業

昭和48~49年度に館内の重要文化財旧西田川郡役所、同旧渋谷家住宅を中心とした防災施設工事(火災報知設備、消火設備、避雷針設備ほか)を国庫補助事業として行い、防災対策を講じてきた。その後平成8年度に火災報知設備の改修工事(国庫補助事業)、同18年度には消火設備の改修等を行ってきたが、各種設備の経年劣化により著しく防災活動に困難をきたしている状況となってきたため、従来設置された火災報知設備・消火設備・避雷針設備を改修及び交換し、新たに防犯設備を設置するなど、平成29~30年度にかけて実施する。同29年度は、火災報知設備(器具交換など)及び避雷針設備の更新・補修を行った。なお、構内の重要文化財旧鶴岡警察署庁舎の防災設備(火災報知設備・避雷針設備)は、同庁舎保存修理事業の中で実施された。

(3) 重要文化財色々威胴丸修理事業

この甲冑は庄内藩酒井家初代・酒井忠次所用のもので、室町後期の作といわれ、昭和32年重要文化財に指定された。昭和40年代に一度修復がなされたが、近年、胴丸の紐の劣化が目立ち、胴部分を支えることも困難となり、平成16年以降展示出品を控えていたため、昨年9月1日より国庫補助事業として全面的な補修を実施した。修理にあたっては、文化庁美術工芸課の指導のもとに、東京国立博物館に修理室を構える小澤正実氏(国選定技術保持者・甲冑修理)に依頼し、威糸や紐の補強、桧材を用いた専用架台の製作などを行った。なお総事業費6700,000円(国庫補助率60%)であった。

(4) 文化資源調査事業

当館が所蔵する歴史資料などを調査研究し、その成果を公益性の高い文化資源として社会に還元するために、「大泉叢誌」の筆写・解読・点検・データ入力を実施した。また付属する絵図の翻刻・解説書『大泉叢誌絵図』を300冊出版刊行した。また、『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約50点を解説整理した。

1-2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

① 重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷針設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

② 名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

③ 国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書籍・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

④ 史跡松ヶ岡開墾場内の第一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)・第四番蚕室(庄内農具館)の防災設備の保守点検を実施した。

(2) 博物館資料の保存管理事業

① 歴史的建造物等の保存管理

御隱殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時

に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装資料・冊子資料の補修・修理、作品資料の額装、美術工芸品や庄内竿・民具等の手入れなどを実施した。資料台帳の整備を進めた。

③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の「重要有形民俗文化財庄内米作り用具収蔵庫」や第一番蚕室の「松ヶ岡開墾記念館」や第四番蚕室の「庄内農具館」に展示収蔵している博物館資料を日常管理で実施した。

1-3 展示事業

(1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などをを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①公開講演会

平成29年2月24日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)

東京友の会の集い 講演会 講師 原田良子氏(西郷隆盛研究家・京都市在住)

「京都の西郷隆盛と庄内藩」 参加者 97名

②土曜講座

9月2日(土) 江川 満氏(陶芸家) 「美術の在る場所」 参加者 26名

10月7日(土) 渡邊真吾氏(東北古典彫刻修復研究所副所長) 「仏像修復の現場」 参加者 23名

11月5日(土) 秋保 良氏(鶴岡市史編纂委員) 「史料で見る庄内藩士の食生活」 参加者 37名

③中国古典講座

日時 4月～12月の毎月7日 9回開催

内容 中国古典「論語」の講義並びに「詩經」の素読

講師 犬塚幹士当館顧問(講義) 水野貞吉莊内南洲会理事長(素読)

受講生 15名(一般) 延出席人数 57名

④古文書講座「もんじょ部」

日時 4月17日・6月19日・6月26日・7月10日・7月24日・8月21日・8月28日

9月11日・9月25日・11月13日・11月27日・12月11日・1月15日・

2月12日・3月6日 計 15回開催

内容 一昨年発刊した『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方を解説。また、新出古文書の整理を行った。

講師 菅原義勝学芸員 受講生 9名 延出席人数 102名

(2) 出版事業

①館報「致道」55号(3000部)

平成30年2月発行

②『大泉叢誌絵図』(300冊)

*前述平成30年3月31日発行

(3) 伝統文化普及事業

①各流合同茶会 6月11日(日) 於:致道博物館内に4席 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会の合同茶会 参加者 289名

②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共に)

5月下旬～8月上旬毎週土曜日・7月下旬～8月上旬毎日早朝(5:40～6:15) 15回開催

『論語抄』の素読 6/29 史跡文化財巡り(金峰山登山)

講師 水野貞吉氏(致道館文化振興会議)、三矢正士氏(同左)、加藤徹三(致道博物館)、富樫恒文(藩校致道館)、酒井英一(致道博物館)、本間 豊(同左)

受講生 13名(小学4年生～中学2年生) 延出席人数 160名

- ③やまがたアートライン事業の参加（主催 実行委員会／事務局 山形県県民文化課内）
 *「東北文化の日」 10月28日～11月26日
 ・期間中の土日祝日は小中学生の入館料無料 参加した子どもの人数 114名
- ④姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)、刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)、庄内民俗学会の例会に協力 於:致道博物館講座室
- (4)教育啓蒙事業**
- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月 (180日間)
 解説員 11名 延活動人数 315名
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 9月4日～9月9日
 実習生／新潟大学1名・京都女子大学1名・桜美林大学1名・東北芸術工科大学1名 計4名
 実習内容／美術工芸品(掛軸・陶磁器・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、資料の整理と保存、拓本技法、写真撮影技法、資料修復と資料化、近隣文化施設見学
- ③主な研修会の受け入れ先
 ・鶴岡市新採教員初任者研修 8月3日(月) 受講新採教員 26名、事務局 5名
 研修内容／致道博物館の概要及び重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業見学
- ④先賢を偲ぶ会 平成30年2月18日(日) 於:御隱殿、講座室(直会)
 内容／拝礼、講話・酒井英一(当館参与)「石川静正『薩摩紀行』について」参加者36名
- ⑤東京友の会の集い 平成30年2月24(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)(前出)
- ⑥博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数20件
 相談内容／書の解読・古文書の解読・酒井忠徳俳諧資料・酒井家文書・刀剣の保存などに関すること
- ⑦庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力
- ⑧鶴岡市主催の特別展「西郷どんと菅はん」への協力 松ヶ岡シルクストーリー小冊子刊行への協力、中山町特別展「西郷隆盛」への協力
- ⑨市内の近隣小学校の「昔のくらしを学ぶ」ふるさと学習の受け入れ。
- ⑩広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年
 各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った

1-5 調査研究事業

- (1)文化資源調査事業 (前出)
 (2)庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理

2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

2-1 展示事業

- (1)企画特別展示事業 (主催事業) 於:美術展覧会場
 ☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、△印:(公財)日本美術刀剣保存協会共催

① ☆想像と創造 画家 三井永一の仕事

4月 1日～4月 26日 (26日間)

入場者数:一般 2,380名／児童生徒学生 91名／計 2,471名

鶴岡出身の洋画家・三井永一(1910～2013)は、春陽会会員として油彩画を発表する傍ら、池波正太郎や藤沢周平などの小説の挿絵を多く手がけ、様々なジャンルで活躍した。本展は独自のタッチで流行作家の小説世界を表現した挿絵をはじめ油彩画・版画や掲載誌など約3,800点を出品し、多彩な画家の画業をたどった。

② ☆日本名刀展第1部 見どころ学べる！目で観る刀の教科書～日本刀剣博物技術研究財団管理コレクションより～

4月 29日～6月 8日 (41日間)

入場者数:一般 11,652名／児童生徒学 1,737名／計 13,389名

大阪にある(一財)日本刀剣博物技術研究財団の協力を得て、その管理・所蔵の日本刀(大和守安定・加州清光・左文字・長曾根虎徹・村正・和泉守兼定・陸奥守吉行など)計40点を出品、「折れず・曲がらず・よく切れる」といわれる日本刀の歴史や地金・刃文の特色とその鑑賞のポイントを学んだ。また、粟田口吉光の短刀(重文信濃藤四郎・重美五虎退・重美乱藤四郎)をはじめ所蔵の刀剣や鐔などの刀装具20点も出品した。期間中、上杉博物館学芸員や財団理事長によるギャラリー・トークを開催し、GWや日曜日には夜間開館(20:00迄)も行った。併せて昨年に引き続き、「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボ企画を開催、近隣施設とのスタンプラリーやキャラクターの一日館長イベントも実施した。

③ ☆◇日本名刀展第2部 平成29年新作名刀展—現代の刀工と刀職— 6月 14日～7月 6日 (23日間)

入場者数:一般 2,876名／児童生徒学生 138名／計 3,014名

毎年(公財)日本美術刀剣保存協会が主催する同展(会場:東京・刀剣博物館)の巡回展で、刀剣関係の最も権威ある全国展覧会。現代の刀工と刀職による刀剣と刀装具(鐔・拵・柄前・白銀など)の入賞作計62点を展示、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀制作した作品の工芸美を鑑賞するとともに長い歴史に培われた日本人の美意識と伝統の技を紹介した。東京・日本美術刀剣保存協会共催。刀匠による銘切の実演を実施した。

④ ☆現代日本画家 伊藤喜久井と門下生たち

7月 8日～8月 7日 (27日間)

入場者数:一般 3,278名／児童生徒学生 317名／計 3,595名

郷土を代表する日本画家・伊藤喜久井(1911～2002)は、女子美大卒業後、画業に勤しみ1997年に「母と子」や「働く女性」などをモチーフとした作品を制作するとともに、美術団体「佳陽会」の指導を長く務めた。没後15年を記念し、先生の作品18点とスケッチブック15冊、門下生(物故者:太田澄子・酒井鎮子・久留晃子・後藤佳子・金野百合子)の作品10点を展示し、鑑賞した。鶴岡アートフォーラム他より借用した。

⑤ ☆陶芸家クリスチャンヌ・ペロション & 写真家 山本 豊～光彩とモノクロームの対話～

8月 10日～9月 5日 (27日間)

入場者数:一般 3,265名／児童生徒学生 432名／計 3,697名

イタリア・トスカーナに活動の拠点を置くC・ペロション(スイス・ジュネーブ出身)、フランス・パリで活躍している山本豊(鶴岡市出身)、両氏による陶芸と写真のコラボ展として開催した。美しく繊細な造形に柔らかな光彩を帯びる陶芸作品、独特な世界観をモノクロームに映し出した写真作品、計87点を展示し、個性と個性が絡み合う芸術の空間を表現した。期間中、2人のギャラリートークを開催した。

⑥ ☆遊びのこころ 磯貝吉紀 ドールハウスの世界

9月 8日～10月 4日 (27日間)

入場者数:一般 7,261名／児童生徒学生 659名／計 7,920名

観る人に時間と空間を超えた生活を空想体験させるドールハウス。目を疑うほどの精密さで忠実に縮小された家具や小物たちなど、小さな世界を表現している。日本のドールハウス作家・研究家として著名な磯貝吉紀氏(1933～2011)が、約40年に渡り手がけた作品35点及び関連資料など会場一堂に展示し、鑑賞した。期間中、磯貝夫人によるギャラリートークを開催した。

⑦ ☆魅惑の江戸絵画

10月 14日～11月 13日 (31日間)

入場者数:一般 5,445名／児童生徒学生 303名／計 5,748名

江戸時代の画人による作品展として開催。県内に所蔵されている狩野探幽・池大雅・浦上玉堂・円山応挙・谷文晁・伊藤若冲・司馬江漢ら作品25件30点を展示した。江戸時代隆盛を誇った狩野派の絵画から、大雅・玉堂らの文人画、幕末の初期洋画まで、人びとを魅了する江戸絵画の数々を鑑賞した。山形美術館・本間美術館・慈光明院や個人コレクターから作品を借用した。

- ⑧ ☆衣・食・住ーひと昔の暮らし 11月16日～12月25日（37日間）
 入場者数：一般 1,984名／児童生徒学生 598名／計 2,748名
 当館は開館以来民俗資料の収集を行ってきた。今回はその中で「衣食住」に関わる民俗資料の中から、昭和時代（1929～89）を戦前・戦後・高度成長期に分けて計 121点を展示し、昭和 40 年頃の一般住宅の「茶の間」など再現コーナーも設置した。期間中、小学生の見学に際し学芸員が展示解説を行い、校外授業の一助とした。所蔵品のほかに遊佐町歴史民俗伝承館や庄内町歴史民俗資料館より借用した。
- ⑨ ☆笑いの絵画 H30.1月19日～2月20日（29日間）
 入場者数：一般 1,017名／児童生徒学生 335名／計 1,352名
 楽しみが少なかった時代は笑いをテーマにした絵や話が多く作られ、戯画の流行もみられた。本展は江戸後期の葛飾北斎「北斎漫画」（山形美術館寄託）、明治期の市原円潭「陽物放屁合戦絵巻（鳥羽僧正・模写）」、土屋鷗涯の「福来門」、最後の庄内藩主酒井忠宝（号・松涛）作の戯画を計 37 点を出品し、笑いを誘う作品を紹介した。
- ⑩ ☆旧庄内藩主酒井家美術資料展 2月29日～3月30日（35日間）
 入場者数：一般 2,944名／児童生徒学生 171名／計 3,115名
 藩祖・酒井忠次と庄内入部の3代忠勝の「和歌懐紙」、藩校致道館創設の9代忠徳の書蹟、天保国替騒動時の10代忠器の墨画や幕末の戊辰戦争時の12代忠篤・13代忠宝までの歴代藩主の書画や、鶴ヶ岡城模絵や狩野常信「富士図」など計 33 点を展示し、旧庄内藩酒井家伝来の美術工芸品の数々を鑑賞した。
- ⑪ ☆鶴岡雛物語（於：御隱殿） 3月1日～4月3日（34日間）
 入場者数：一般 3,199名／児童生徒学生 223名／計 3,421名
 城下町鶴岡に伝わる古典雛を紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識するため、旧庄内藩主酒井家や市内旧家で所蔵の江戸中期から明治期の雛人形や大名家の雛道具を展観し、併せて鶴岡市内の菓子店からの雛菓子も展示した。また江戸後期・二代原舟月の古今雛や歌川国貞等の大判錦絵など特別出品した。期間中、林直輝氏（日松県会議員）のギャラリー・トークの他、雛菓子づくりなどの体験を実施した。
- (2) 個展・グループ展示事業** 於：美術展覧会場
- ① 洋画家・保泉一紅展～真・善・美・空・無・自・念～ 10月7日～10月12日（7日間）
 入場者数：一般 1,011名／児童生徒学生 33名／計 1,044名
 保泉氏は 1942 年生まれ、埼玉県在住。美術団体「雪解会」主宰。新日本美術協会会員で白雲社会員。油絵や書計 31 点を出品。棟方志功の墨画作品等 3 点も特別出品した。
- ② 第38回 鶴岡書道会会員展（共催） H30.1月5日～1月16日（11日間）
 入場者数：一般 251名／児童生徒学生 31名／計 281名
 昭和 9 年に設立された鶴岡市を中心とする書道団体。会員の作品 32 点とともに鶴岡市と友好都市の江戸川区の書道連盟幹部の賛助作品 5 点を展示鑑賞した。
- (3) ロビー展示事業** ※主催は各団体 於：講座室・ロビー
- ① 第14回 庄内姉様人形教室作品展 10月28日～10月30日（3日間）
 23 名が制作した作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形（紙人形）を宣伝するとともに受講生の作品発表の場とした。
- ② 第10回「砂の会」作品展 11月2日～11月5日（5日間）
 加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員が制作した作品を展示、砂を素材に絵画的作品や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。
- ③ 第11回 寒蘭展（鶴岡東洋蘭同好会と共催） 11月20日～11月26日（7日間）
 鶴岡東洋蘭同好会の一部会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約 20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。
- ④ 第12回 東洋蘭展（鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共催） H30.3月20日～3月25日（6日間）
 日本春蘭と中国春蘭あわせて約 120 鉢、蘭に因む掛軸額装作品 7 点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

5月28日(日)於:展覧会場 「見どころ学べる!目で観る刀の教科書」講演会

「銘吉光 号五虎退について」 講師・角屋由美子氏(米沢市立上杉博物館学芸主査) 参加者 75名

5月3日(土)・4日(日)於:展覧会場 「見どころ学べる!目で観る刀の教科書」講演会(6回)

「日本刀について」 講師 澤口希能氏(一般財団法人日本刀剣博物館技術研究財団理事長) 参加者 650名

6月25日(日)・7月1日(日)於:展覧会場 「平成29年新作名刀展」ギャラリートーク

講師 上林恒平氏(刀匠) 参加者 計 87名

6月17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日)・7月1日(日)・2日(日)

於:展覧会場 「平成28年新作名刀展」銘切り実演 講師・上林恒平刀匠

8月11日(火)於:展覧会場 「陶芸家C・ペロション&写真家山本豊」展 アーティストトーク

講師 C・ペロション一家(陶芸家)、山本豊(写真家) 参加者 50名

9月9日(日)於:展覧会場 「遊びのこころ 磯貝吉紀 ドールハウスの世界」展 ゲストトーク

講師 磯貝三枝子氏(故磯貝吉紀氏夫人) 参加者 80名

H30.3月10日(土)・11日(日)於:御隱殿 「鶴岡雑物語」展スペシャルトーク(2回)

講師 林直輝氏(東京・駄吉徳資料室長) 参加者 72名

3月4日(土)於:展覧会場一階ロビー 「鶴岡雑物語」展 雛菓子作りの体験

講師 住吉屋菓子店 参加者 40名

(2) 出版事業

企画特別展図録目録の発行

①図録「遊びのこころ 磯貝吉紀 ドールハウスの世界」(A5・60頁フルカラー/1000部/価格 500円)

②小冊子「刀の教科書」(A4・16頁フルカラー/5000部/無料配布)

③各企画展目録リーフレットの制作

④その他 スタンプラリーブック・マップ・記念ポスター・ポストカード等を制作

(3) 広報事業

①広報活動 企画展の広報活動

各種事業については、広報印刷物(ポスター・リーフレット・ポストカード等)の制作、配布のほか、新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。

3. 公益目的事業3 (事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

①外構管理

除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃・浄化を行った。

② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備（自動火災報知器・消火器）の保守点検を実施した。平成25年度から夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。利用者の安全安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」を再整備した。

(2) 展示事業

① 藩校致道館の沿革・教育・制度・釈奠・施設などに関する資料を展示、隨時キャプションの改訂を行った。

② 御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語」の素読をBGMで流した。

(3) 普及教育事業

① 藩校致道館教育体験教室・講座

7月30日（日）於：致道館 夏休み研究サポート 江戸時代の学校「致道館」を調べよう
講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 参加者数 8名

② 「孔子祭・致道館の日」式典（主催：致道館文化振興会議）

9月18日（月）於：致道館 内容／祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演
児童生徒論語体験作文発表会（収集殿）参加者 71名

③ 研修会・講座（主催・各種団体）

4月 7日	鶴岡信用金庫新入職員研修会	17名
4月 9日	慶應義塾大学先端生命科学研富田研究室新入生研修会	26名
4月 13日	新採教員初任者研修 主催 鶴岡市教育委員会	36名
5月 26日	庄内管内市町教育委員会文化財保護行政担当者研修	19名
6月 24日	慶應義塾大学鶴岡キャンパス「山形文化論」	11名
7月 2日	鶴岡市女性センター登録サークル連絡協議会研修	38名
7月 20日	鶴岡市ふじしま観光ガイドの会研修	8名
7月 25日	兄弟都市鹿児島市中学生親善使節団	36名
8月 9日	日中交流ツアー「日本の歴史や文化にふれる」	17名
8月 30日	慶應義塾大学庄内セミナー「致道館の教育精神と学びの継承」	35名
9月 15日	鹿児島市立大龍小学校（朝暘第二小学校との姉妹校）	12名
9月 18日	孔子祭・致道館の日	71名
9月 26日	県青少年専門員研修「致道館の教育精神と学びの継承」	7名
10月 1日	表千家同門会茶会	307名
10月 14日～15日	県高等学校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」	54名
10月 28日	庄内銀行行員イベント 「ウォークラリー」	536名
11月 2日	歴史景観まちづくり協議会全国大会研修視察	101名
11月 5日	遠州流茶会	226名
11月 10日	県立鶴岡中央高校 3年課題国語「致道館教育と論語素読」	35名
その他、5団体が使用、講師 富樫恒文統括文化財保護指導員		
以上受講者 1,773名		

④ 学校の授業への協力

学校の授業（「致道館についての学習」と「庄内論語の素読」）として使用

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内 17校 19学年の児童 748人

⑤ 視察・来館者への藩校致道館に関する解説説明、助言相談

⑥ 伝統文化の継承普及イベントの共催

10月 1日（日）於：致道館 表千家同門会茶会 307名

11月 5日（日）於：致道館 遠州流茶会 226名

⑦ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。

⑧ 広報活動

新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知を図った。

3-2 大宝館の保存管理活用事業

指定管理制度により鶴岡市社会教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、市の有形文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

① 外構管理

建物（玄関）周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃

② 建造物並びに館内管理

・建物周囲点検、高山牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、防災設備（自動火災報知機・消火器）の保守点検を実施した。

・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。

・消防訓練については1月に実施し、予防・災害対策を確認した。

(2) 展示事業

第40期展示（平成29年3月～平成30年3月）の開催

＜常設展示＞32名 再展示人物…五十嵐與七、菅原利鎌

＜企画展示＞「鶴岡の食文化の礎を築いた人々」ユネスコの食文化都市認定を記念し、本市の特徴的な農業・農作物や漁業などの発展に貢献した人物15名を展示

(3) 普及教育事業

① 夏休みイベントの開催

・「親子で大宝館に遊びにおいでよ」（平成29年8月1日（火）～8月20日（日））

親子で郷土の偉人を楽しく学ぶイベントを開催した。

・展示人物総選挙 参加者541名（投票期間8月5日（土）～8月18日（金））

人物一覧の表を作成し、来館者にシールで投票していただいた。

・つるおか歴史人物新聞作り 参加者17名

館内を見学して、低学年は佐藤靈山について、高学年はおすすめ人物（柏戸、木村庄之助、斎藤外市、松森胤保、黒崎研堂）の中から選んで作成していただいた。

・大宝館クイズラリー 110月14日～11月13日 85名参加

② 来館者への大宝館や展示人物に関する解説説明、相談助言

③ 広報活動

・新聞・テレビ・コミュニティーペーパーなどの報道機関など資料提供や取材協力依頼につとめ周知を図った。

・鶴ヶ岡城址公園案内図を作成し、公園内の石碑や文化財についてまとめた。

④ その他

・関連人物情報のスクラップ

4. 収益事業1 （事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売）

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作って販売を行った。

所蔵資料を掲載したクリアファイルなどのオリジナルグッズを新規に作成、販売した。

4月下旬の「見どころ学べる！目で観る刀の教科書」展の開催期間にあわせ、「刀剣乱舞-ONLINE-」の刀剣男子・信濃藤四郎のオリジナルコラボグッズを作成した。同期間に㈱清川屋の協力を得て、特設ショップを開設し、コラボグッズ等の販売を委託した。

(2) 軽食喫茶店等の賃貸事業

軽食喫茶店舗（店名「荘内藩しるけっちあーの」）として、㈱オールケッチャーノに6月上旬まで賃貸した。

庶務の概要

平成30年3月31日現在

1. 役員に関する事項

順不同。敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事 12名)			評議員	加藤 忍	鶴岡市教育委員会教育長
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀劍保存協会会長	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会長、前ほとりあ館長	〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
〃	国井 美保	鶴庄文術創造研究所理事	〃	斎藤 秀	(株)さらやか銀行鶴岡支店長
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	佐賀井 仁	山形県立博物館長
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員、東北公文大評議員	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議会長
〃	鈴木 晃	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	早坂 岡	鶴岡市観光連盟会長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	本間 謙三	(公財)本間美術館
〃	田中 茂雄	(公財)東北振興研修所理事長	〃	三浦 恒祺	白鷹社委員長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会长	〃	山田 鉄哉	松ヶ岡開墾場理事長
〃	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	(監事 2名)		
〃	三矢 正士	致道館文化振興会議事務局長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役社長
(評議員 15名)			〃	本間 厚	税理士
評議員	阿部 進	田川地区高等学校長会代表(鶴岡工業高校長)	(顧問 3名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会长	顧問	榎本 政規	前鶴岡市長
〃	伊藤 博	(株)莊内銀行	〃	田中 尚	前鶴岡織物工業協同組合理事長
〃	大沼 賀世	県文化財審議員、寒河江市文化財審議員	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会长
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長			

2. 役員会に関する事項

■ 理事会

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度収支予算の件 ・平成30年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業の件 ・定款変更の件(松ヶ岡施設の土地売却) ・定款変更の件(第45条公示公開の条文) ・評議員会開催の件 	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認
--	---	--------------------------------------

■ 評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果
平成28年 6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録署名人選出の件 ・平成28年度事業報告の件 ・平成28年度収支決算の件 ・評議員補充選任の件 ・任期満了につき理事改選の件 ・理事会決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成28年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成29年度同事業変更の件 ②平成28年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修繕収支決算及び平成29年度収支予算の件 ③平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎防災施設工事の件 ④平成29年度重要文化財色々威洞丸保存修繕の件 	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承 了承 了承 了承
平成30年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録署名人選出の件 ・定款変更の件(松ヶ岡施設の土地売却) ・定款変更の件(第45条公示公開の条文) ・理事会決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成29年度補正予算の件 ②平成30年度事業計画の件 ③平成31年度収支予算の件 ④平成30年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟(建造物)防災施設等整備事業の件 	可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承

■ 執行役会議 毎月1回開催(4月10日、5月11日、6月12日、7月12日、8月12日、9月14日、10月11日、11月9日、12月11日、平成30年1月11日、2月3日、3月9日) 計12回

■ 監査 6月6日(平成28年度会計監査)

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛所	内容	備考
4月1日	山形県知事	平成29年度山形県博物館事業共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成29年度教育関係事業(鶴岡博物館展示事業)共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成29年度文化団体等連携支援(展示会議)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成28年度国指定文化財(晒田川郡役所)管理費補助事業実績報告書	5月24日付で交付確定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化資源調査保存事業申請書	4月1日付で交付決定

4月 3日	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(旧警察署舎)	4月3日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(旧警察署舎)	4月3日付で交付決定
〃	山形県知事	平成29年度国指定文化財(晒田川穀所)管理費補助事業申請書	4月3日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅)	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園)	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園)	4月3日付で交付決定
4月 19日	鶴岡市長	平成28年度鶴岡市文化資源調査保存事業実績報告書	
4月 30日	山形県知事	平成28年度山形県博物館事業共催実績報告書	4月27日付で交付額確定
4月 30日	鶴岡市長	平成28年度致道博物館展示事業実績報告書	
3月31日付にて提出	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成28年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月26日付で交付額確定
5月 5日	(公財)米沢上杉文化振興財団	講師派遣申請書(「見どころ学べる!目で観る刀の教科書展」のギャラリートークの件)	
6月 30日	山形県教育委員会	重要文化財色々威彌丸修理届出書	
7月 3日	文化庁長官	計画変更承認申請書(平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理工事)	8月24日付で承認
〃	文化庁文化財部長	係官派遣申請書(平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理工事)	
〃	山形県教育庁	職員の派遣について(同上)	
7月 4日	文化庁長官	平成29年度国宝重文等保存整備費補助金交付申請書(色々威彌丸)	9月1日付で交付決定
7月 12日	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
〃	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書	7月19日付で受理
8月 8日	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更承認申請書(平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理工事)	9月1日付で承認
〃	鶴岡市長	平成29年度補助事業等変更申請書(平成29年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理工事)	9月1日付で承認
9月 1日	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(色々威彌丸)	9月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化財保護事業費補助金交付申請書(色々威彌丸)	9月1日付で交付決定
9月 5日	文化庁長官	平成29年度国宝重文等保存整備費補助金交付申請書(重文色々威彌丸ほか2棟(建造物)防災施設整備事業)	11月1日付で承認
9月 13日	山形県教育委員会	所在の場所変更届(山形県指定文化財 松村景文筆若狭孔雀図-「魅惑の江戸絵画展」)	8月24日付で承認
10月 4日	山形県知事	平成29年度国指定文化財管理費補助事業状況報告	
10月 6日	山形県教育委員会	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金状況報告書(旧鶴岡警察署舎保存修理工事/重文色々威彌丸修理工事)	
10月 15日	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
10月 23日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書(支所松ヶ岡開墾場、一番・四番蚕室、収蔵庫)	10月23日付で受理
11月 1日	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(重要文化財旧鶴岡警察署舎ほか2棟(建造物)防災施設整備事業)	11月1日付で承認
11月 1日	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(同上)	11月1日付で承認

12月22日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書（今年度第1回防火訓練実施計画）	12月22日付で受付
12月25日	〃	消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書（旧警察署令書一自動火災報知設備）	3月27日附検査済証交付
平成29年1月5日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書（重要文化財旧浪谷家住宅内の暖炉裏で火焚き屋出し作業をするための承認申請書）	1月9日付で承認
1月 9日	〃	消防訓練通報書（第63回文化財防火デー・防火訓練実施）	1月9日付で受理
1月 9日	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
2月 2日	〃	消防用設備等（動力消防ポンプ設備）点検結果報告書	2月2日付で受理
2月 6日	文化庁長官	平成30年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書	4月3日付で交付決定
2月 7日	文化庁文化財部長	係官派遣申請書（平成29年度重要文化財色々丸修理事業）	
2月 7日	山形県教育庁	職員の派遣について（見上）	
3月10日	文化庁長官	毀損届（重要文化財旧西田川郡役所）	
3月20日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検報告書（御龍殿）（旧御龍殿一自動火災報知設備）	3月27日附検査済証交付
〃	〃	消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届書（多層民家一自動火災報知設備）	3月27日附検査済証交付
3月31日	山形県教育委員会	平成29年度国宝重文等保存整備費補助金実績報告書（色々丸）	4月18日付で確定通知
〃	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書（同上）	5月8日付で確定通知
〃	鶴岡市長	平成29年度補助事業等実績書（同上）	4月17日付で確定通知
〃	山形県教育委員会	平成29年度国宝重文等保存整備費補助金実績報告書（旧警察署令書）	4月20日付で確定通知
〃	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書（旧警察署令書）	5月10日付で確定通知
〃	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書（旧警察署令書）	4月23日付で確定通知
〃	山形県教育委員会	平成29年度国宝重文等保存整備費補助金実績報告書（重文旧警察署令書ほか2棟建造物 防災施設等整備事業）	4月20日付で確定通知
〃	山形県知事	平成29年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書（同上）	5月10日付で確定通知
〃	鶴岡市長	平成29年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書（同上）	4月26日付で確定通知

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
28年12月20日～30年4月6日	株式会社ムラヤマ	生誕90年/没後20年記念「藤沢周平展」（巡回：日本橋三越・姫路文学館・北九州市立文学館・練馬区立ふるさと文化館）に、山本甚作画「蟬しぐれ」挿絵原画 計10点
29年2月17日～5月10日	東京都写真美術館	企画展「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 総集編」に菊地新学《三島通庸》《山形県警察署》 計2点
3月23日～6月27日	東京国立博物館 他	特別展「茶の湯」に、重文「無準師範筆禪院額字 潮音堂 1幅
4月 1日～29年3月31日	仙鶴金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月 1日～29年3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月 1日～29年3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月 1日～29年3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展「最上川は語る」にハネバンドリ 1点
4月 1日～29年3月31日	(公益)日本相撲協会 相撲博物館	泉淹福治使用の化粧廻し 1点

6月21日～30年3月22日	鶴岡アートフォーラム	企画展「東北酒は可憐か？～地方之国構想博物館～三瀬夏之介個展～日本の絵～」(7/15～8/20)にハントリ、仕事着、弁財船模型、船絵馬、瓦人形ほか 計26点
6月22日～10月3日	東京都江戸東京博物館／静岡県立美術館 ※事業センター	特別展「戦国！伊井直虎から直政へ」(東京会場：7/4～8/6、静岡会場：8/14～10/12)に、県文朱塗黒糸威二枚胴具足、黒漆塗軍配団扇、徳川十六将図、太刀(袖の雪)他5件
6月27日～9月10日	庄内町教育委員会	庄内町歴史民俗資料館の展示資料として 須恵器(御試土器) 1点
7月 1日～9月30日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井西郭筆一行書「芙蓉峯上一輪高」 1幅
8月11日～9月14日	中鉢美術館(宮城県大崎市)	刀剣展(8/11～8/31)に、市文刀銘月山正信 1振
8月3日～11月22日	庄内町亀の尾里資料館	企画展「内藤秀因展」(8/10～11/19)に内藤秀因「山野草(オウバヨリ)」他 2点
9月1日～10月31日	本間美術館	企画展「大画面で楽しむ日本の美 屏風絵の世界」(9/8～10/17)に狩野常信「四季農耕図屏風」 1点
9月9日～12月 5日	山形県立博物館	プライム企画「GAGAKU-やまとに息づく宮廷文化-」に聖堂积真図他 計20点
10月3日～12月 4日	本間美術館	企画展「古絵図と屏風で見る 東北・北海道の暮らしと風景」に、仙台領国図・蝦夷図他 計3点
10月22日～2月20日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井弥平筆 楊烟五絶「夜送趙縕」 1点
3月19日～3月25日	鶴岡アートフォーラム	企画展「庄内の美術家たち13 秋野松堂」に 秋野松堂「暁富士図」 1点
2月26日～3月20日	(株)庄交コーポレーション	南洲翁・臥牛翁遺徳顕彰展示「西鶴どんと首はん」(松ヶ岡第二番三室会場)に 朱の丸(旗) 1旗
2月27日～	史跡藩校致道館	展示資料として 酒井忠器筆「大黒天図」 1点

5. その 他

月 日	主 な 事 項
4月13日	山形県教育庁文化財・生涯学習課より平成28年度重文旧鶴岡警察署舎保存修理事業の検査。
4月20日	鶴岡市教育委員会より平成27年度史跡致道館の指定管理の監査。
5月14日	"KATANADAY" コソノカ一日館長就任式・撮影会(小中生無料)。
5月18日	山形県文化環境部生活文化課より会計検査(平成28年度山形県博物館事業(監査事業)共催負担金)
6月3～4日	「目で観る刀の教科書展」講演会開催につき 多数の来館者で館内混雑。
7月24日	文化庁・金井健調査官が来館、重文旧鶴岡警察署舎修理記念としての奉立(松岡窓)の贈呈式。
8月18日	首都圏鶴岡会より旧警察署舎修理記念としての奉立(松岡窓)の贈呈式。
9月15日	開館以来、入館者総数が600万人を達成。600万人目は新渡戸悦子さん(副会長)へ花束贈呈。
9月21日	本間美術館と姉妹館交流会(担当会議室) 14名参加。
10月19日	第1回旧鶴岡警察署舎-公開等に関する活用検討会開催。
10月26日	映画「サムライマラソン」に、御隱殿の茶室を撮影場所として協力。
11月 2日	「重文旧鶴岡警察署ほか2棟防災施設等整備事業」の工事入札会 焼山口工務店が落札。
11月12日	「名刀『袖の雪』異聞 トーク&パフォーマンス」に御隱殿を会場貸与し、刀剣を展示。26名参加
11月16日	第2回旧鶴岡警察署舎-公開等に関する活用検討会開催
12月 9日	平成29年度重文旧鶴岡警察署舎保修理工事終了、12日に29年度出来高検査
12月15日	第3回旧鶴岡警察署舎-公開等に関する活用検討会開催会
12月25日	山形県教育庁文化財・生涯学習課より平成29年度重文旧鶴岡警察署舎保修理事業の竣工検査
12月27日	第1回防火訓練(避難訓練)10名参加。

平成30年1月11日	旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始（3月中旬まで）
1月26日	第2回防火訓練（総合訓練）10名参加。
2月16日	友の会世話人会 31名出席
3月 7日	前日の深夜より強風が吹き、郡役所1階屋根南側のファニアルの一部に破損、関係機関に連絡。
3月30日	平成29年度重文旧鶴岡警察署庁舎ほか2棟防災施設整備事業 29年度出来高検査。

資料-1 入館者数(月別)

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生 有料者	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会			
4月	29年度	1,930	432	585	57	10	121	53	3,188
	前年度	1,313	300	339	24	6	55	39	2,076
5月	29年度	6,177	760	1,033	432	245	535	87	9,269
	前年度	3,143	1,085	564	78	118	186	76	5,250
6月	29年度	4,103	1,196	698	273	93	164	79	6,606
	前年度	1,814	980	436	12	0	82	71	3,395
7月	29年度	1,792	861	489	125	5	132	106	3,510
	前年度	1,842	975	471	54	12	69	115	3,538
8月	29年度	2,727	535	502	189	4	289	132	4,378
	前年度	3,134	266	457	190	14	268	71	4,400
9月	29年度	4,559	830	1,318	190	53	310	182	7,442
	前年度	1,964	1,137	346	79	0	281	56	3,863
10月	29年度	3,064	1,858	949	65	45	170	102	6,253
	前年度	8,357	1,888	1,008	644	117	477	134	12,625
11月	29年度	1,645	910	508	15	74	638	147	3,937
	前年度	1,650	657	596	32	37	438	177	3,587
12月	29年度	405	223	278	16	2	103	60	1,087
	前年度	425	52	214	12	0	41	19	763
1月	29年度	261	105	256	27	13	182	28	872
	前年度	311	61	219	38	13	324	36	1,002
2月	29年度	372	59	358	18	16	120	22	965
	前年度	480	34	344	23	10	143	21	1,055
3月	29年度	1,438	221	975	92	5	86	266	3,083
	前年度	2,667	257	1,280	85	3	172	293	4,757
合計	29年度	28,473	7,990	7,949	1,499	565	2,850	1,264	50,590
	前年度	27,100	7,692	6,274	1,271	330	2,536	1,108	46,311

■松ヶ岡観覧施設 (12月～3月まで休館)

(単位:名)

月	年度	一般			学 生		小中学生 有料者	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会			
4月	29年度	173	20	126	0	0	7	15	341
	前年度	127	88	130	1	0	8	0	354
5月	29年度	350	23	108	64	4	17	15	581
	前年度	201	0	95	44	0	12	4	356
6月	29年度	161	70	87	116	0	3	14	451
	前年度	104	48	115	57	0	5	8	337
7月	29年度	215	97	106	1	0	63	0	482
	前年度	125	40	97	9	0	29	4	304
8月	29年度	225	44	103	35	4	21	0	432
	前年度	175	8	194	56	0	17	4	454
9月	29年度	211	100	106	22	0	4	0	443
	前年度	279	12	199	66	0	35	7	598
10月	29年度	269	43	81	2	4	6	1	406
	前年度	395	102	131	4	1	5	1	639
11月	29年度	119	111	59	1	0	4	0	294
	前年度	139	19	41	1	0	31	0	231
合計	28年度	1,723	508	776	241	12	125	45	3,430
	前年度	1,545	317	1,002	238	1	142	28	3,273

資料-2 友の会会員数

(単位:名)

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
平成29年度	239	103	1,381	63	182	2,311	4,279
平成28年度	245	104	1,320	61	171	2,353	4,254
増 減	△ 6	△ 1	61	2	11	△ 42	25

資料一3 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
平成29年(2017)	45,562	5,028	50,590
総計	4,643,976	1,326,991	6,021,557

*1 昭和25年4月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1~12/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1~翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1~翌年3/31

資料一4 平成29年度新収蔵美術品

【寄贈】

No.	種別	作者	作品資料名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法(cm)
1	絵画	菊池 容斎	堀川夜討	明治時代	絹本・着色・軸装	1幅	162.0×84.2
2	絵画	酒井 忠宝	鳥羽絵花下祝宴図	明治時代	絹本・着色・軸装	1幅	124.6×51.0
3	絵画	今井 繁三郎	飛天	1972年	カンバス・油彩・額装	1点	53.0×45.5
4	絵画	伊藤 喜久井 戸蒔 晟光	花図(りんどう 百日草) 花図(あざみ・終南天)		紙本・着色・仮軸装	2点	40.5×45.6／40.2×44.8
5	絵画	東卓心越禅師	菊花倚石図 自画贊	江戸時代	紙本・墨画・軸装	1幅	35.7×52.8
6	絵画	春叢 和尚	達磨像 自画贊	江戸時代	紙本・墨画・軸装	1幅	125.0×52.8
7	絵画	藤本 鉄石	觀瀑煮茗之図 自画贊	江戸時代	紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	134.0×50.0
8	絵画	谷 文晁	龍虎図	江戸時代	紙本・墨画・軸装	双幅	双129.8×57.8
9	絵画	渡辺 留山	芙蓉小禽図 亀田綾瀬贊(極書き有り)	天保元年(1830)	紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	130.0×42.0
10	絵画	李 世偉	六合同春図	江戸時代	紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	110.0×41.5
11	絵画	呉 大徵	松菊図	明治5年(1872)	紙本・墨画・軸装	1幅	35.7×52.8
12	絵画	菊池 芳文	鶴之図	明治～大正時代	紙本・墨画・軸装	1幅	128.5×57.0
13	絵画	酒井 忠徳	大黒天図 酒井忠良贊	昭和25年(1950)	紙本・木版・軸装	1幅	83.0×25.6
14	絵画	溝口 宗文	破墨山水	昭和19年(1944)	紙本・墨画・軸装	1幅	68.7×30.4
15	絵画	A. PREEN	chickens (鶏)	19世紀	キャンバス・油彩・額装	1面	61.5×29.5
16	絵画	斎藤 墨湖	群鶴図	慶応2年(1866)	紙本・墨画着色・軸装	1幅	112.6×48.6
17	絵画	加藤 雪窓	達磨図		紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	127.3×29.8
18	絵画	荒井 篤一郎	水草に鳥図		紙本・着色・軸装	1幅	153.0×27.6
19	絵画	荒井 篤一郎	牛を引く平安人図		紙本・墨画着色・軸装	1幅	132.0×44.0
20	絵画	荒井 篤一郎	狐の嫁入り図		紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	134.0×33.8
21	絵画	太田 義一	川漁	昭和10年(1935)	紙本・着色・額装	1面	23.8×32.3
22	絵画	太田 義一	夏日烟		紙本・着色・軸装	1幅	133.0×49.2
23	絵画	橋本 邦助	朝の海	昭和初年	カンバス・油彩・額装	1面	38.0×46.0
24	絵画	小貫 博堂	春暖		紙本・着色・軸装	1幅	125.0×42.5
25	絵画	石井 弥一郎	晩秋の海岸	昭和24年(1949)	板・油彩・額装	1面	23.0×32.0
26	絵画	石井 弥一郎	夏の清川	昭和24年(1949)	板・油彩・額装	1面	23.0×32.0
27	絵画	石井 弥一郎	立谷沢川	昭和20年代	板・油彩・額装	1面	30.5×40.0
28	絵画	石井 弥一郎	カサゴ図		紙本・着色・扇面軸装	1幅	25.6×55.7
29	絵画	石井 弥一郎他	諸書画帖		紙本・墨画・淡彩・帖	1帖	21.0×15.2 全長242.0
30	絵画	石井 弥一郎	魚図ほか		紙本・水彩・扇面まくり	9枚	25.7×55.0 他
31	絵画	菅原 梅理	牧童図		紙本・墨画・軸装	1幅	114.0×41.0
32	絵画	岡島 霞岳	竜虎図		紙本・墨画淡彩・軸装	双幅	100.0×32.0
33	絵画	萩之坊 乗円	菊図・芙蓉図		紙本・墨画・軸装	双幅	163.0×24.1
34	絵画	塙 養拙斎	松竹鶴亀日出萬歳図		絹本・着色・軸装	三幅対	97.8×40.3
35	絵画	新田 德純	猫図		紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	94.4×24.2
36	絵画	狩野 永真	紅梅・白梅・渡唐天神図 兼書「御永城之御頂戴為」天保12年		絹本・墨画・軸装	三幅対	103.8×39.5
37	絵画	牧野 永昌	美人画 葛天民先生贊		絹本・着色・軸装	1幅	92.2×34.3
38	絵画	翰假春江齋王子	葡萄蝉図		絹本・着色・軸装	1幅	26.3×16.3
39	書跡	西郷 隆盛	七言絶句「一日貧閑」	明治時代	紙本・墨書・軸装	1幅	151.0×66.3
40	書跡	佐久間 象山	山水画 賛(象山・子明)	嘉永2年(1849)	紙本・墨画・軸装	1幅	109.0×27.5
41	書跡	祇園 南海	七言絶句「過歎喜寺召事」	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	26.0×33.5
42	書跡	五井 蘭洲	一行書「江樹遠含情」	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	27.7×27.0
43	書跡	龍井 南溟	七言律詩「叢菊依々…」	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	36.5×73.2
44	書跡	申 緯	五言律詩(董其昌臨書)・山景図(二点貼交)	江戸時代	紙本・墨書・墨画淡彩・軸装	1幅	共28.0×22.0
45	書跡	宮田 明	宮田明先生書蹟(三矢士懷宛・三点貼交)	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	(上)16.7×46.0 (中)16.0×49.0 (下)27.5×39.3
46	書跡	酒井 良恒	楷書四行書		紙本・墨書・軸装	1幅	116.5×28.0
47	書跡	三矢 静・町子	五律悼詩・悼歌・賀歌(三点貼交)	明治・大正時代	紙本・墨書・軸装	1幅	(上・色紙)19.7×19.3 (略)
48	書跡	日下部 鳴鶴	五行書「詫理篆書…」	明治時代	紙本・墨書・軸装	1幅	167.0×85.7
49	書跡	酒井 忠徳	和歌短冊「春雨」	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	36.0×5.8
50	書跡	廣瀬 淡窓	自詠五絶「舟逐…」	江戸時代	紙本・墨書・軸装	1幅	134.0×28.6
51	書跡	中村 汀女	俳句「曼珠沙華」	昭和時代	紙本・墨書・軸装	1幅	33.5×43.7
52	書跡	三矢 玲琴	和歌臨書二十首	昭和時代	紙本・墨書・巻子	1巻	28.1×138.5
53	書跡	山縣 有朋	自詠七絶「煙水茫茫…」	明治24年(1891)	絹本・墨書・軸装	1幅	150.0×43.4
54	書跡	土屋 竹雨	七言律詩「江湖…」		紙本・墨・詩箋軸装	1幅	22.5×14.8
55	書跡	松平 穆堂	七言絶句「一自移家…」		紙本・墨・軸装	1幅	137.5×54.4
56	書跡	松平 穆堂	七言絶句「学文無主…」		紙本・墨・軸装	1幅	138.0×68.5
57	書跡	西方 平庵	茶不求精詩「小壼」付説明書簡	昭和11(1936)	紙本・墨着色・軸装	1幅	39.0×19.0×19.0×8.0
58	書跡	伊藤 東涯	和歌	享保14年	紙本・墨書・軸装	1幅	54.5×44.0
59	書跡	山岡 鉄舟	水府列公之遺訓		紙本・墨書・軸装	1幅	134.5×50.7
60	書跡	三条 実美	七言対句「梨花落地半窓雨」		紙本・墨書・軸装	1幅	100.0×30.3
61	書跡	勝 海舟	七言対句「志士」	(明治26(1887))	紙本・墨書・軸装	1幅	136.0×65.8

No.	種別	作者	作品資料名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法(cm)
62	書跡	副島 種臣	七言詩「莊内…」		紙本・墨書・軸装	1幅	150.4×40.2
63	書跡	副島 種臣	白居易「焼座石之銘並序」		紙本・墨書・軸装	1幅	119.6×45.6
64	書跡	東久世 通禧	七言対句		紙本・墨書・軸装	1幅	136.0×47.3
65	書跡	松本 順	三大字「仁者壽」		紙本・墨書・軸装	1幅	29.2×80.5
66	書跡	大森 紫	曾國藩の一説「學貴…」	大正10年(1920)	紙本・墨書・軸装	1幅	138.5×54.5
67	書跡	佐藤 鉄太郎	七言絶句	大正10年(1920)	紙本・墨書・軸装	1幅	148.0×37.0
68	書跡	巖谷 一六	五言詩		紙本・墨書・まくり	12枚	139.5×53.0
69	書跡	亀田 鵬斎	蘭亭記		紙本・墨書・まくり	13枚	31.5×50.5
70	書跡	細井 廣澤	四大字「廣澤絶筆」他	元文5年	紙本・墨書・軸装	1幅	81.4×51.0
71	書跡	服部 南郭	二大字「佩蘭」		紙本・墨書・軸装	1幅	25.5×66.0
72	書跡	川上 宗雪 <small>(自傳著)</small>	師川上不白(宗雪)庭訓	文化9年:1812	紙本・墨書・軸装	1幅	101.4×34.5
73	書跡	雲居 希膺	六祖壇經一節		紙本・墨書・軸装	1幅	28.2×50.5
74	書跡	陳楨(華人)	十二支十二張		紙本・墨書・マクリ	12枚	133.0×51.3
75	拓本		利休居士石浮圖 銘墨摺		紙本・拓本・軸装	双幅	132.0×50.0
76	工芸		刀 無銘(朱銘口口住有俊)	鎌倉時代		1口	長71.0/反3.9/ 目釘穴1ヶ 長9寸6分 反5厘 目釘穴2ヶ
77	工芸	國包	短刀 銘源國包 寛永十七 山城	寛永17年(1640)		1口	長22.4 反一 目釘穴1ヶ
78	工芸	吉光(土佐)	短刀 銘吉光	室町時代後期		1口	長7寸6分5厘 目釘穴2ヶ
79	工芸	光包	短刀 銘光包	鎌倉時代		1口	長35.3 目釘穴1ヶ
80	工芸		鳳凰日の出時繪短刀拵	江戸時代		1口	刀長:22.3cm / 反り:0cm
81	工芸	兼元	短刀銘 兼元 附黒漆塗出鉗柄合口拵	室町後期		1口	
82	工芸	礪貝 吉紀	ドールハウス作品 及び関連資料	昭和～平成		34点他	
83	絵画		西郷隆盛関連資料(肖像画・書籍他)			1点・4冊	
84	資料		軍服・他	昭和初期		1揃	

絵画	38件
書跡	36件
工芸品	7件
その他	3件
小計	84件

資料一 5 ①旧藩校致道館・平成29年度入館者数

単位：人数

月別	一般	学生	幼小中	合計
4月	2,145	64	170	2,379
5月	4,705	322	358	5,385
6月	3,012	134	248	3,394
7月	2,166	73	131	2,370
8月	2,837	152	177	3,166
9月	3,317	58	115	3,490
10月	3,937	134	182	4,253
11月	1,983	41	273	2,297
12月	857	7	103	967
1月	410	5	15	430
2月	513	3	48	564
3月	1,480	66	56	1,602
計	27,362	1,059	1,876	30,297

資料一 5 ②大宝館・平成29年度入館者数

単位：人数

月別	一般	学生	小中	計
4月	3,067	100	543	3,710
5月	5,492	251	444	6,187
6月	2,771	35	97	2,903
7月	1,365	11	87	1,463
8月	2,477	44	232	2,753
9月	1,994	7	24	2,025
10月	1,833	19	68	1,920
11月	1,010	0	54	1,064
12月	211	2	34	247
1月	259	7	7	273
2月	221	5	13	239
3月	744	17	79	840
計	21,444	498	1,682	23,624